

**育G新聞**

Vol.2

イクジイが日本を元気にする。

毎月1回連載

育G新聞編集部 編集協力：  
NPO法人 フザーリング・ジャパン  
NPO法人 孫育て・ニッポン

## 育G インフォメーション

### 第1回孫育てフォーラム

#### 「家族で深めよう、地域に 広げよう孫育ての和」

- 【日程】 6/3 (日)
- 【時間】 午後1時30分～3時30分
- 【場所】 東京都台東区  
社団法人日本助産師会2階研修室
- 【参加費】 無料
- 【対象】 祖父母、ママ・パパ、子育て、  
孫育てに关心のある方
- 【お問合せ・お申込み】 TEL 03-3866-3054
- 【定員】 25組(先着順、要予約)
- 【主催】 NPO法人 孫育て・ニッポン  
詳細 ↓  
<http://www.magosodate-nippon.org/>

#### イクジスクール 6/11(月) 開講決定!

- 【日程】 全5回  
6/11(月) 6/25(月) 7/9(月) 7/23(月) 8/6(月)
- 【時間】 午後6時30分～午後8時30分
- 【場所】 東京都中央区  
京華スクエア・ハイテクセンター
- 【対象】 子育て、孫育て、社会貢献に  
関心のある男性
- 【主催】 特定非営利活動法人  
フザーリング・ジャパン  
詳細は→ <http://www.fathering.jp/ikuji/>

# ★ 育G発見 ★

No.2

横浜市港北区  
ガーデンコート自治会 会長  
一之瀬文彦さん

法律会計事務所で働く一之瀬文彦さんの休日は忙しい。  
自治会の会長、青少年指導員、スポーツ推進委員、  
社会福祉保健計画の策定委員などいくつもの顔を持つ。

高校卒業から母校の軟式テニス部の  
コーチを23年間行っていました。部員、保護者、O.B.、行政とのつながり、仕事での経験や人脈が今のマンションや  
地域での活動の土台になっています。

新築で入居したマンションは123世帯。管理組合はあったのですが自治会はなく、住民の中心メンバーで自治会を設立。建物などのハード面は管理組合が、生活に直結する福祉保健、防犯・防災などのソフト面は「住民一人ひとりが考え、自分たちで治める」という考え方のもと当自治会が行っています。

ソフト面で一番大切なのは、顔の見える関係作り。共有スペースを使って、お祭り、クリスマス会、ケーキ作り、植栽会、老人会など、子どもからお年寄りまで参加できるイベントを行っています。子どもが小さいときには、親子で関わりやすいことがわかったので、当子ども会の対象年齢は小学生からではなく、0才から中学生までに広げました。

3.11の震災以降、ほとんどの方が地域のつながりを作らなくてはと思っているでしょう。でも、きっかけがない。先日、住民の方から、「英語なら教えられますよ」とお話しがありました。これもいろいろなイベントを行っていたからこそ、自分の得意分野で協力できると思ってくださったんだと思います。



仕事やこれまでの人生で培った経験を地域で還元し、生活を豊かにする。とても大切なことだと思います。地域で長年活動されている諸先輩方や子育て世代、子どもたちからも学ぶことが本当にたくさんあり、それが仕事に役立つこともあります。町内会や子ども会のイベントなどでほぼ毎週かり出され、少々疲れますが(笑)、自分が地域に出る機会が増えれば、つながる顔も増える。つながっていけば、何かあったときにつながって、支え合うことができる。そんな自治会、地域を目指しています。

# 育Gの極意

お孫さんの写真は、  
連写と望遠レンズを活用

お孫さんの誕生をきっかけに、デジタル一眼レフを購入するジイも多いとか。イマドキのデジタルカメラは、顔を検出してくれたり、動きを追ってピントを合わせてくれるなど、カメラマンの腕が多少悪くても、カメラが補ってくれるようになりました。

でも、動きの速い子どもの写真を撮るのは、やっぱり難しい。そこでオススメなのが、連写を使うこと。デジタルカメラは、フィルムカメラと違うので、たくさん撮って気に入った写真を残せばいいのです。高速連写で撮った写真の中には、想定外の写真もあり、楽しめますよ。

レンズを交換できるカメラを持っている方は、ぜひ望遠レンズを使ってお孫さんのアップの写真を撮ってみましょう。背景がいい感じにぼやけて、カメラマンが撮影したような素敵なお写真が撮れますよ。

写真を撮ることが大好きなジイは、自分が写っている写真が少なくなりがち。たまには誰かに頼んで、自分も写真に写ってくださいね。お出かけのときには、ミニ三脚があると便利です。

## 育G潮流

社会の役に立ちたい  
60代男性がトップ 73.8%

2011年3月11日に発生した東日本大震災以降、家族や親戚とのつながり、地域でのつながりを大切に思う、社会全体として助け合うことが重要だと強く

## 育Gスタイル

育Gスタイリスト G・ハヤシがオススメする  
“撮った写真を楽しむいまどきの方法。”



春は、入園＆入学etc. と孫イベント目白押し。カメラを手に駆けつける育Gも多いはず。そこでオススメなのが、撮った写真をインターネット上で家族や友人だけに公開できる「ウェブアルバム」。写真を焼き増し、孫一家にも送って・・・という手間も省け、みんなで楽しむことができます。「パーソナルフォトクラウド」とも呼ばれている注目のサービスです！

意識する人が多いようだ。平成14年と平成23年の「社会への貢献意識」(内閣府 社会意識に関する世論調査)

を比べてみると、「日頃、社会の一員として、何か社会のために役に立ちたいと思っている」人の割合は、男性が60.2%から67.8%で7.6%増、女性が57.8%から64.4%で6.6%増。役に立ちたいと思っている割合も伸び率も、男性が女性を上回った。男性50代以上を年代別に見ると増加率のトップは60～69才で8.3%増、2位は50～59才で7.5%増。

この思いが、現在形になっているのか？ といえば、まだ芽が出だしたところだろう。昔の仲間とゴルフを楽しむのもいいが、勇気を持って思いを形にして欲しい。50代以上

の男性のパワーが日本社会に還元されたら、日本の未来は必ず明るくなるだろう。

\*「日頃、社会の一員として、何か社会のために役に立ちたいと思っている」人の割合(男性)

